

学校・保護者・地域をつなぐ...

# うてよびびけよ 鼓中通信

第3号

「来てよかった、明日も来たい」学校を目指して  
令和7年5月16日

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校  
☎059-386-5852

## 朝はさわやかな音楽と、明るく元気な「おはよう」から！！

「おはようございます！！」朝から昇降口で元気な声が聞こえてきます。気持ちいいですね。あいさつ運動が始まりました。生徒会の発信により、委員会で曜日ごとに取り組んでいます。あいさつの大切さはどこでも言われることですが、「自分から心を開いて相手に近づいていく」という意味ではコミュニケーションのきっかけとなる大切な習慣です。ますます気持ちの良いあいさつが交わされる学校になってほしいと思います。

また、今月初めにはノーチャイムデー週間があり、生徒たちは時計を見ながら見通しを立て、自分たちで自治的に行動できつつあります。1年生も学校生活にだいぶ慣れてきました。教科の準備もほぼ休み時間内におえる



ことができ、クラスメイトや教科ごとで変わる先生にも慣れ、素直で元気に取り組めて、いい感じにすごせています。疲れの出てくる時期でもありますので、学校での活動が支障なくできるよう、ご家庭でも睡眠時間の確保や規則正しい生活にご協力よろしくお願いたします。



### 【あいさつの基本】

スマイル(笑顔で)

クリアボイス(はっきりと)

アイコンタクト(目を合わせて)

レスポンス(互いに交わそう)

## 人とつながることが安心につながる...生徒も保護者も先生も

4月の授業参観後に学級懇談会を持ちました。新入生のご家庭はもちろんのこと、2、3年生の保護者の方たちにもたくさんご参加いただき、ありがとうございました。

担任や同じクラスになった保護者同士が顔を合わせてちょっとした会話をする短い時間だったのですが、今後お子さんから学校での出来事を聞いた時に、より想像しやすくなったのではないかと思います。子育ての悩みはどこのご家庭にもあります。これをきっかけに保護者の方同士もつながって、いい関係を作っていたらと思います。

特に1年生は3つの小学校から来たばかりです。様々に育ってきた環境が少しずつ違いますので、行き違いや戸惑いも多いでしょうが、その違いを楽しんで、互いを尊重しあってかかわりあえる生徒たちになってくれることを期待します。

### 学級懇談会より...はじめまして



## 地域の教育活動への参画と連携 学校運営協議会の開催

5月8日(木)に今年度最初の学校運営協議会が行われ、新しい委員さんが任命されました(敬称略)。6限目の落ち着いた授業の様子を参観いただき、その後、今年度の学校運営方針の承認をいただきました。委員さんの中には、PTA代表の方も含まれます。今年度に学校が取り



学校の様子を参観

り組んでいくこと、地域がかかわっていくこと、家庭で身につけてさせていくことを明確にして、地域とともにある学校の

実現を、三者が協働してすすめていきたいと考えます。今年度は、除草作業など、PTA活動にも地域のご参加を呼び掛けていくと思いますので、機会があればどうぞご参加ください。

委員長	新	森川 洋行 (保護司)
副委員長	新	田中 さやか(PTA 会長)
委員		高橋 洋二(自治会関係)
委員	新	南部 清高 (まちづくり)
委員		谷 暁子 (地域ボラ)
委員		大杉 淳 (自治会関係)
委員		喜田 正秋(自治会関係)
委員		川下 正一(まちづくり)
委員	新	吉川 達也(PTA 副会長)
地域 Co		今井 俊郎

## “守ろう命、守ろう交通マナー” 1年生交通安全教室開催

1年生は、自転車の乗り方も蛇行からまっすぐ左側一列ができるようになってきています。荷物のくくり方の力加減もわかるようになり、途中で脱落することのないよう上手になってきました。5月14日(水)には、中勢自動車学校から講師先生に来ていただき交通安全教室を行いました。自分が車からどう見えているかも想像しながら、引き続きヘルメットを正しくかぶり、交通事故に巻き込まれないように、また加害者にもならないように、安全にゆとりをもって登下校しましょう。



## 津波避難訓練(第3次避難)4月30日

本校は大地震の際に津波避難を行います。避難場所は稲生小学校となっています。かなり距離がありますが、市の指定となっていますので、中学生はとにかく逃げます。今回は避難経路を確認することが第1の目標でしたが、3年生は最速で36分、最後の1年生も50分以内には避難を完了することができました。いざとなると踏切や信号は呈している可能性がありますし、



3次避難出発

稲生小学校避難完了



一般の人たちも同様に逃げることになります。

生徒たちには「自分の命は自分で守る」ということを何度も言い聞かせています。釜石市の教訓です。自分が助からなかったら、誰かを助けることはできませんから。

今後も防災学習を進めていきます。訓練に際しましては、保護者の方や、地域の方々、鈴鹿警察署等に道路横断時の見守りをしていただきました。ご協力ありがとうございました。